

ボランティア募集 & イベント情報

問合せ先のないものは、
すべて鶴見区ボランティアセンター
(区社協内 ☎ 504-5625)へ

「ひびきの会」ボランティア募集

高齢者対象のミニデイサービスで、利用者の方と一緒に楽しみませんか。会場の設営（椅子・テーブル）やお茶出し、話し相手、昼食・レクリエーションの準備など。月1回でも構いません。無理のない範囲でお手伝いください。

【日時】 毎月第2・4金曜日11:00～15:00
毎月第3金曜日10:00～12:00

【場所】 寺尾地域ケアプラザ

【連絡先】 寺尾地域ケアプラザ ☎ 585-5566（担当・榊）

手話サークル 手・フレンド・鶴
あいさつから始める手話入門講座

【日時】 11月5日～12月17日(木曜全7回)10:00～12:00

【場所】 鶴見区福祉保健活動拠点(区社協)6階

【定員】 20人

【受講料】 1,000円(テキスト代含む)

【申込先】 (1)FAXで ①氏名(ふりがな)②住所③電話番号を記入
☎ 573-0645 増田まで

(2)郵送で 鶴見区社会福祉協議会「手・フレンド・鶴」あて
〒230-0051 鶴見区鶴見中央4-32-1UNEXビル5階

【締切り】 10月29日(木)必着

鶴見区役所・鶴見区内地域包括支援センター社会福祉士会合同
エンディングノート講座

鶴見区版エンディングノートを使いながら、記入のポイントや注意事項をお話します。元気な“今”のうちから“これから”について考えてみませんか？

【日時】 10月29日(木)

午前の部10:00～12:00 午後の部14:00～16:00

※午前・午後の部ともに同じ内容です。どちらかに申し込みのうえ、参加してください。

【持ち物】 筆記用具（エンディングノートは主催側で用意）

【場所】 鶴見公会堂

【定員】 各回先着60人(定員になり次第締切り)

【申込・問合せ】 鶴見区高齢障害支援課 ☎ 510-1772

子どもと読書
—全国読み聞かせキャラバン—

【日時】 10月30日(金)

第1部：幼児対象のおはなし会10:00～12:00

第2部：子育て支援者・保護者など対象の講演会14:00～16:30※保育なし

【場所】 鶴見区地域子育て支援拠点 わっくんひろば2階研修室

【定員】 第1部：親子30組 第2部：40名

【参加費】 無料

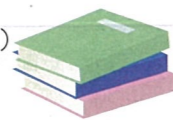
【申込先】 電話かFAXで、鶴見区社会福祉協議会まで
☎ 504-5619 ☎ 504-5616

(10月11日より先着順。定員になり次第締切り)

主催：全国子ども読書キャラバン

後援：鶴見区社会福祉協議会

協力：鶴見図書館・鶴見区地域子育て支援拠点 わっくんひろば



行政書士による講座&巡回無料相談会

「成年後見制度」を中心に講座・相談会を実施します。講座では「相続」「遺言」など気になるテーマについても専門家がわかりやすく説明します（相談会は事前予約制となっております）。

【日時・場所・申込先】

①11月18日(水)・19日(木)9:00～12:00

鶴見区役所1階検査室

※区役所では、無料相談会のみとなります。

※11月11日(水)9時～ 区役所高齢者支援担当で予約受付

☎ 510-1775

②12月17日(木)14:00～16:00

矢向地域ケアプラザ ☎ 573-0020

③28年2月8日(月)13:30～16:00

鶴見市場地域ケアプラザ ☎ 504-1077

公益社団法人 鶴見法人会 女性部会
チャリティーバザー開催

【日時】 11月25日(水)10:00～15:00

【場所】 鶴見区役所前

【連絡先】 公益社団法人 鶴見法人会事務局

☎ 521-2531 ☎ 503-2051

物品寄贈にもご協力ください。11月18日(水)までに事務局へお持ちいただくか、引き取りにお伺いいたしますので、電話かFAXでご連絡ください。

寄贈をお願いする物品

- 雑貨・衣料品(冬物の新品に限ります。古着は不可)
- 食品(未開封・賞味期限内のもの。生ものは不可)



鶴見区社協より <http://www.yturumi-shakyo.jp/>

QUO
カード
プレゼント!

「表紙クイズ」& 愛読者アンケート

表紙の写真を見てピンときた方、ご応募ください。応募は、はがき・FAX・Eメールで、①表紙のクイズの回答②郵便番号・住所・氏名・電話・性別・年齢③福祉つるみを手に入れた場所④ご意見・ご感想を記入の上、10月31日(必着)までに鶴見区社協「アンケート係」へ。当選は賞品の発送をもって代えさせていただきます。前号の正解は②平安公園、応募者数は38名でした。区社協ホームページにクイズのヒントがあります。ぜひアクセスを。



〒230-0051 鶴見区鶴見中央4-32-1UNEXビル5F

鶴見区社会福祉協議会

☎504-5619 ☎504-5616 Eメール:info@yturumi-shakyo.jp

編集委員/河西英彦、中村啓子、蔵本美佐子、谷亜由美、松下功

福祉

つるみ 79

点字・録音版も!

【第79号】2015年10月1日発行/編集・発行◇社会福祉法人 横浜市鶴見区社会福祉協議会 TEL.045-504-5619 FAX.045-504-5616



鶴見区の
福祉活動を支える

善意銀行

表紙クイズ
ここは鶴見のどこの空? 応募方法はウラ表紙をご覧ください
東高校の近くを流れる憩いのせせらぎです
①森永橋 ②汐鶴橋水際緑道 ③入江川せせらぎ緑道

撮影者:武藤伯晃(2015年7月31日撮影)

特集 善意銀行

お年玉の中から寄付してくれた小学生がいました
職場で集めたお金を持ってきてくれる人がいます
地域ケアプラザの利用者や、
名前を告げずに届ける人も

くらしに、まちに、 あなたのお金が 生きている

寄付したいお金やものを鶴見区社会福祉協議会(区社協)が預かり、必要としている人や団体に届ける「善意銀行」。何年にもわたってバザーの収益金を寄付している団体、みなさんの気持ちを活動に生かしている団体を紹介します。

「寄付をしたいの
だけけど…」

その気持ち、お預かりします!
まずは、
区社協にお問い合わせください



活動金品の配分を受けている団体からは、「ボランティア活動の幅が広がった」「障害者の宿泊体験に生かして社会参加の場が広がった」「施設利用者の表情に笑顔がふえた」といった声が寄せられています。

公益社団法人 鶴見法人会女性部会 少しでもみなさんの 役に立てば

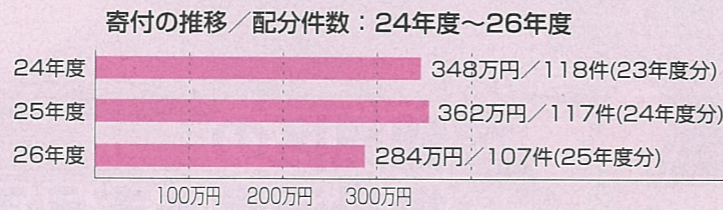


チャリティーバザーの収益金から経費を除いた全額を善意銀行に寄付しています。法人会の会員企業の皆さんからたくさんの物品の寄付をいただき、女性部会役員でバザー前日に仕分けや値札付けを行い、鶴見区役所前の広場で開催。バザーを始めた平成11年以来、続けています。

すこしでも、困っている人の役に立つ形で使われれば何よりうれしいという思いで、女性部会全員の心をひとつに今後も取り組んでいきます(春山・榎本さん談)。



■活動内容 昭和52年発足。税の啓発活動として「税を考える週間」行事(街頭広報やチャリティーバザー)、小学生の「税に関する絵はがきコンクール」、地域社会貢献の映画鑑賞会などを実施。
◀春山洋子相談役(左)と、榎本ひろみ女性部会長



- 鶴見区内で福祉活動に取り組む団体、ボランティアグループに、活動を支える金品の一部として配分
- 送迎サービスの運用に活用 など

イベント会場、職場などに「募金箱」を置いてください(貸出) 詳しくは区社協へお問合せください。



県立鶴見養護学校卒業生 余暇活動支援青年教室 ふうせんの会 卒業後の居場所 づくりに生かしています

配分を受けるようになって活動回数を年3回から4回に増やすことができ、善意銀行からの配分金は会の運営に欠かせないものになりました。働いている人、自立をめざす人、親から離れない人など会の顔ぶれは多彩ですが、卒業後の行き場や居場所が限られるのが現状。代表の須佐すみ子さんは「課題を少しでも解消し、親にはひととき息抜きをしてほしいという思いで続ける活動に、みなさんの善意はとてありがたい」と話していました。



▲会の代表を勤める須佐すみ子さん(右)、ボランティアで活動に参加している鶴見養護学校教諭の黒住直さん
■活動内容・場所 年に4回、カレー作りやカラオケ、ダンスを通じて会員(10～50代・25人)の交流と余暇の場を設けている。養護学校の教諭もボランティアで参加。次回の予定は10月25日。駒岡地域ケアプラザ



NPO法人 横浜市ボート協会 ボートを通じた障害児・者との 交流につかっています

12年前、精神に障害のある人が通う地域作業所「れんげの家(当時)」の利用者に月に1回ボートの楽しみ方を教えたのが、善意銀行の配分金を活動に生かそうと考えたきっかけでした。協会顧問の木村稚夫(のりお)さんが区の助成制度などを調べるなかで善意銀行の仕組みを知り、区社協に申請しました。「ボートは生涯を通じて、誰でも楽しめるスポーツ。その魅力を伝えるための活動費、運営費、各地のボートファンとの交流などに配分金を有意義に使っています」。



▲15人乗りのチャーターボートを使った体験漕艇の様子

知的障害者のボートチームが鶴見川でオールを漕ぎ、不登校児・生徒が通う学校も定期的に練習に来ます。「地元を流れる鶴見川にボートを浮かべて漕ぐ手ごたえ。水面から見慣れた風景を眺める新鮮さ。ひとりでも多くの人にこうした体験をしていただくため、協会メンバーはみなさんと出会うことを楽しみにし、善意銀行に感謝しています」(鈴木信太郎会長)。

■活動内容・場所 昭和62年発足。10数年前から障害児・者の「体験漕艇」に積極的に取り組む。ボート競技の普及・振興に向けて市民ボートレースや初心者・夏休みの親子ボート教室、指導者講習会などを行う。鶴見川漕艇場

◀鈴木信太郎会長(左)と木村稚夫顧問。8人乗りで、ボート競技の中では最もスピードの出るエイト(8+)の艇を点検整備に来ていた「団塊号」の人たちと

善意銀行 寄付者

- 金銭寄付者(敬称略・順不同) 東寺尾商品開発部 ● ナイスホーム(株) ● 岩澤 孝 鶴子(4) ● 鶴見区更生保護女性会 ● 林 正己 ● 吉田雅子 ● 中島明高 ● 海野奎吾 ● 滝口房枝 ● 神奈川土建一般労働組合横浜鶴見支部 ● 鶴見区議員団 ● 匿名(10) ● 田口裕美 ● 蔵本美佐子
物品寄付者(敬称略) 吉兆グループ(4) ● 聖ヨゼフ学園中学・高等学校

善意の寄付を ありがとうございました

平成27年5月1日～8月31日
()内は期間内の寄付回数

寄付の方法

- ①区社協窓口への持参(月～土 9時～17時)
 - ②銀行振込
- ★物品寄付についてもご相談ください。

振込先

横浜信用金庫 鶴見駅東口支店 普通042900
社会福祉法人 横浜市鶴見区社会福祉協議会
善意銀行 伊藤 学(イトウ マナブ)

●「福祉つるみ」の発行費は、共同募金配分金を活用しています。●「福祉つるみ」では広告を募集しております。●一部地域では、障害者地域作業所が配布しています。●次号(第80号)は「福祉のしごと」を特集、平成28年2月1日発行です。